

| | | | | |
|--------------------------|--|---------|------------------------------|----------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 肢体不自由教育Ⅱ (2単位) | | 3. 科目番号 | SSMP3453 SCMP3453 |
| 2. 授業担当教員 | 柳本 雄次 | | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習・ディスカッション | 5. 開講学期 | 春学期 | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 特になし | | | |
| 7. 講義概要 | 本科目では、肢体不自由教育Ⅰで学習した知識を基礎に、医療・福祉など近接分野の最新の動向に関心を広げながら、より実践的な内容を学習する。具体的には主として自立活動に関する学習指導案の作成・模擬授業を通して、実態把握やアセスメントの方法、及び評価に関する基礎、教材・教具の意義理解など、肢体不自由特別支援学校で活かせる実践力を、グループ討議や双方向対話形式で培っていく。 | | | |
| 8. 学習目標 | 【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。 ① 肢体不自由の主な起因疾患と指導上の留意点 ② 肢体不自由児の実態把握・アセスメントの基礎知識 ③ 自立活動の授業づくりや模擬授業、授業研究会に関する取り組み ④ 身体障害者福祉施策の概要 | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | レポート課題(A4 1~2枚 1200字~1500字程度) 肢体不自由教育のもつ特徴について論述 | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】特に指定せず、資料を配付する。 【参考書】安藤隆男・藤田継道編著『よくわかる肢体不自由教育 (第2版)』ミネルヴァ書房、2023 | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 肢体不自由教育に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 肢体不自由教育の学習指導案作成と授業づくりを理解し、模擬授業や授業研究に主体的に他と協調しながら対処できるようになっているか。 ○評定の方法 以下を総合的に検討し、判断する。 1 発言、討議、態度、グループワークへの貢献、シートの取り組み等への積極的参加 総合点の40% 2 レポート(模擬授業、テストを含む) 総合点の60% *なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。 | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 肢体不自由児はその障害の種類・程度・実態も様々。肢体不自由教育Ⅱでは、自ら問題意識を持ち、積極的に受講者と協議しながら、肢体不自由教育の実践に学び、学習指導が自ら実行できるようにしていきます。授業には、自らの問題意識を持ち、仲間と楽しく協議する気持ちで臨みましょう。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 木曜日 4限 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第1回 | 肢体不自由とは(定義・原因・分類) | 事前学習 | 肢体不自由(児)とは何かを調べる。 | |
| | | 事後学習 | 肢体不自由と身体障害の異同を理解する。 | |
| 第2回 | 肢体不自由教育の歴史的展開(日本とドイツ) | 事前学習 | 肢体不自由教育の史的発達を読んでおく。 | |
| | | 事後学習 | 肢体不自由教育のパイオニアをまとめる。 | |
| 第3回 | 肢体不自由教育の今日的状況 | 事前学習 | 肢体不自由教育の現状を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 複雑で柔軟な教育状況を理解する。 | |
| 第4回 | 肢体不自由教育における教育課程 | 事前学習 | 多様な教育課程の類型を調べておく。 | |
| | | 事後学習 | 障害の重度・重複化と教育課程の変遷を理解する。 | |
| 第5回 | 肢体不自由教育における自立活動 | 事前学習 | 自立活動とは何か、他の各教科等との違いを考える。 | |
| | | 事後学習 | 自立活動の目標、区分についてまとめる | |
| 第6回 | 自立活動の指導法(1)運動機能の発達と改善 | 事前学習 | 運動機能の発達と障害を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 運動機能の障害改善の方法を理解する。 | |
| 第7回 | 自立活動の指導法(2)感覚機能の発達と改善 | 事前学習 | 感覚機能の発達過程を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 感覚機能の障害改善の方法を理解する。 | |
| 第8回 | 自立活動の指導法(3)言語・コミュニケーションの発達と改善 | 事前学習 | 言語・コミュニケーションの発達過程を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 言語・コミュニケーションの発達促進する指導法を理解する。 | |
| 第9回 | 肢体不自由教育の授業づくり | 事前学習 | 個別の指導計画について調べる。 | |
| | | 事後学習 | 実際に授業案を作成してみる。 | |
| 第10回 | 授業の評価と改善 | 事前学習 | 授業案を再検討する。 | |
| | | 事後学習 | 授業案の改善についてまとめる。 | |
| 第11回 | 重度・重複障害児の特徴と教育課題 | 事前学習 | 重度・重複障害児の特徴を調べる。 | |
| | | 事後学習 | 重度・重複障害児の教育的課題をまとめる。 | |
| 第12回 | 医療的ケアと教育的意義 | 事前学習 | 医療的ケアの資料を収集し調べる。 | |
| | | 事後学習 | 医療的ケアのもつ教育的意義をまとめる。 | |
| 第13回 | 通常学校の基礎的教育環境と合理的配慮 | 事前学習 | 肢体不自由児の通常学校の受入れについて考える。 | |

| | | | |
|------|------------------|------|--|
| | | 事後学習 | 通常学校で肢体不自由児支援に必要な対応について施設設備、教育内容、人的環境からまとめる。 |
| 第14回 | 今後のインクルーシブ教育の動向 | 事前学習 | 分離教育・インクルーシブ教育の異同についてまとめる。 |
| | | 事後学習 | 今後のインクルーシブ教育の動向について自分の考えをまとめる。 |
| 第15回 | 身体障害者の福祉施策の現状と課題 | 事前学習 | ライフステージからみた身体障害児・者の福祉の現状を調べる。 |
| | | 事後学習 | 身体障害福祉の今日的課題について考えをまとめる |